

泰山北斗

学校だより R 4 春休み号
掛川市立
北中学校
掛川市上西郷220-2
電話 24-1915

困難を乗り越えてひとまわり大きくなりました

高校、専門学校等の入試が終了し、3年生の表情が和らいできました。これまで進路のことや人間関係、日々の生活で不安を抱える生徒が増えていたのは事実です。しかし、ひとつの山を越えて彼らはたくましくなりました。経験というものは大切ですね。

中学生の悩みについて、スクールカウンセラーの桐生先生に聞いてみました。不安な気持ちは夜に感じる人が多いそうです。「あの時、あんなこと言っちゃったけどだいじょうぶかな?」、「〇〇されそうで怖い」など。中にはよくわからないけれど、漠然とした不安を抱えている人もいます。そんな時、まわりの大人は「それは心配だね。でもあなたの年齢だとそんなものだよ。」「あなたの気持ちはよくわかった。でもそんなことは心配しなくていいんだよ。」などと本人の気持ちを受容したり、共感してあげたりするとよいそうです。毎日会っている人が声をかけてあげると効果があり、保護者の方などがバックにいると思うと子どもはすごく安心できるようです。



学校でも我々教員はできるだけ、生徒の気持ちを受容するよう心がけています。しかし、子どもがただ甘えているだけのように見えて、厳しい言葉をかけ続けると、さらに悪い方へ思いが向かってしまうこともあるようです。過剰に反応するのも避けるべきです。悩みは自分で解決できるのがよいが、それはなかなか難しい。まわりの大人は自力解決の手伝いをしてあげるつもりでいるとよいのではないでしょう

うか。そして、悩んでいる本人も自分に共感し、自分の中の負の感情を認められるよう、促していきたいと思います。

令和3年度の教育活動も無事終了し、卒業・修了の 때가近づいてきました。保護者の皆様、地域の皆様の御協力をいただき、多少の制限はありましたが、ほぼ予定通りの活動を進めることができました。特に今年はタブレット端末を使って、生徒がこれまで以上に意欲的に学習に取り組めるようになりました。また、修学旅行での五明茶紹介から始まり、5月の中日新聞「私たちの学校」での地域紹介、募金活動、ペッパープログラミングでの地域貢献企画発表など、重点である「地域の主体者であることを意識する北中生」に近づきました。そして「確かな学力 豊かな心 高いところぞし」を目標に48年目の北中を楽しみにしててください。



「3年生思春期講座 3/7」

中東遠総合医療センターの助産師さんを講師にお迎えし、3年生対象の思春期講座を行いました。

美しい画像を使って、「命の大切さ」や「身体の成長」「周りの人への感謝」「性に関する病気」等について分かりやすく説明していただきました。

生徒たちは、講話を通して、奇跡的な確率で生まれてきた命の大切さや、育ててくれた全ての人への感謝の気持ちなど、多くのことを学びました。



「弔意表明 3/11」

東日本大震災発災11年となる3/11金に、全校で地震発生時刻である午後2時46分から1分間の黙とうを捧げました。

現在、コロナ禍ではありますが、天災によってライフライン等が止まることなく、日々の生活が送れていることは、とても幸せなことです。しかし、いつ南海トラフ地震が起こるかわかりません。地震が発生した時の対応について、家族で話し合い、避難場所などについて、再確認しておきましょう。



「卒業式リハーサル 3/14」

5時間目に体育館にて「第47回卒業証書授与式」のリハーサルを行いました。

本番さながらの緊張感をもちながら、式の流れや立ち居振る舞いについての最終確認を行いました。

リハーサル後には、表彰が行われ、下記の6名の生徒が北斗賞（学校賞）を受賞しました。

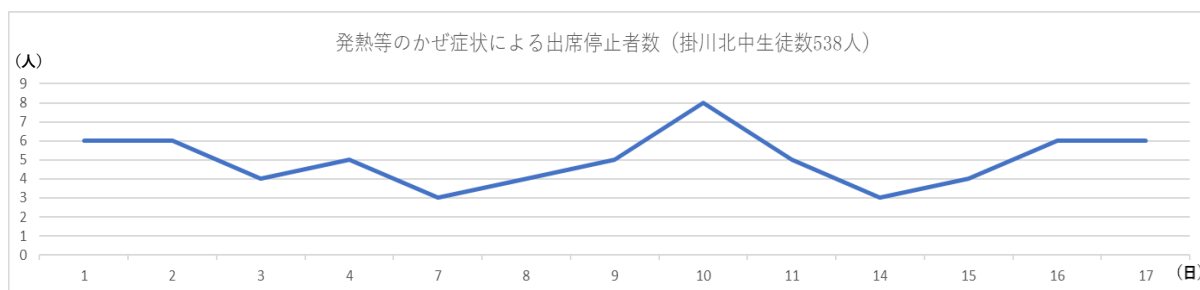


<北斗賞受賞者>

3年1組	大石 湧斗さん	3年1組	覚張かえでさん
3年1組	松下 優司さん	3年2組	中野 槇さん
3年2組	平尾 拓煌さん	3年4組	今駒 咲季さん

【春休みの教育活動】

日	曜	教育活動	給食	部活	日	曜	教育活動	給食	部活
3/18	金	修了式 卒業証書授与式	×	×	28	月	離任式		△
19	土	春休み～4/6		×	29	火			△
20	日			×	30	水			△
21	月	春分の日		×	31	木			△
22	火			△	4/1	金			×
23	水			△	2	土			×
24	木			△	3	日			×
25	金			△	4	月			×
26	土			×	5	火			×
27	日			×	6	水			×
					7	木	新任式 始業式 入学式	×	×



保護者の皆様へ

<学校用品の寄付について>

卒業や進級に際し、不要になった制服や体操服、ジャージ、カバン等の学校用品で、まだ使用できるものがありましたら、学校へ寄付していただけると助かります。寄付していただいた学用品は、転入生や家庭事情等ですぐに準備できない方々への貸し出し用として使用させていただく予定です。よろしくお願いします。